

# 営農ウィークリーNEWS

新規ブランド産品!!!

## 京はたけ菜 試食会開催!!!



2026年2月27日(金)、新規ブランド産品「京はたけ菜」の試食会を、当 JA 羽束師支店にて開催しました。

「京はたけ菜」は、新たなブランド品として、2025年10月1日に府内で初となるブランド産地として、当 JA 管内の京都市伏見区、西京区、大山崎町が指定を受けました。

葉物野菜としてのブランド品目追加は、京みず菜・京壬生菜に次いで約 30 数年ぶりとなります。

「京はたけ菜」のブランド化は、京の伝統野菜の復興、近年の農業生産現場における産地の活性化を図ることが狙いです。

今回の試食会は、従来から伝統的に栽培されてきた在来種と一般種と比較して食味を確認することを目的として開催しました。

当日は、JA 職員が調理した 3 品を提供し、京都府や京都市、全農京都府本部など関係機関の担当者がそれぞれ食べ比べ食味について評価しました。

どちらの種も、たいへんおいしいという評価でした。

### TAC information

### 京おくらで固化培土に播種!!!



2019 年から新たな産地化へ向けて「京おくら」の生産拡大に取り組んできました。

以降、右肩上がりを実績を伸ばすことができました。

3月2日(月)淀支店管内で、硬めの培土である固化培土の試験を行うため、播種を行いました。

根鉢ができる前に定植できることが、この固化培土の最大の特徴です。

通常定植と比較して、オクラの直根性の特性が出てくるのか、今後調査していきます。

## 参 考

### I 近畿地方 1か月予報

(2月28日から3月27日までの天候見通し)

令和8年2月26日  
気象庁 発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

近畿太平洋側では、昨年11月中旬から低気圧の影響を受けにくく、降水量の少ない状態が続いています。向こう1か月の降水量はほぼ平年並の見込みですが、これまでの少雨の状態を解消するには至らない可能性があります。

向こう1か月の日照時間は、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年並か多いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気 温	20	30	50
降水量(日本海側)	40	30	30
降水量(太平洋側)	40	30	30
日 照 時 間	20	40	40

病虫害防除所では上記の天候の1か月予報の表現を「向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並、日照時間は平年並か多いと予想されている。」としました。

### II 用語の定義

#### 1 半旬のとり方

各月の 第1半旬 第2半旬 第3半旬 第4半旬 第5半旬 第6半旬  
1～5日 6～10日 11～15日 16～20日 21～25日 26～最終日

2 発生量――病虫害の発生程度と広がり両面を加味したものをいう。

3 平年値――原則として過去10か年の平均とする。  
データが10年に満たない場合は例年値とする。

#### 4 平年値との比較

##### 1) 時期

平年並	平年値を中心として前後2日以内
やや早い	平年値より3～5日早い
やや遅い	平年値より3～5日遅い
早い	平年値より6日以上早い
遅い	平年値より6日以上遅い

##### 2) 量(発生量、発生面積等)

平年並	平年値並の発生で10年間に4回は発生する程度の普通の量
やや多い	「平年並」より発生が多く、10年間に2回程度の頻度で発生する量
やや少ない	「平年並」より発生が少なく、10年間に2回程度の頻度で発生する量
多い	「やや多い」より多く、10年間に1回程度しか発生しない量
少ない	「やや少ない」より少なく、10年間に1回程度しか発生しない量